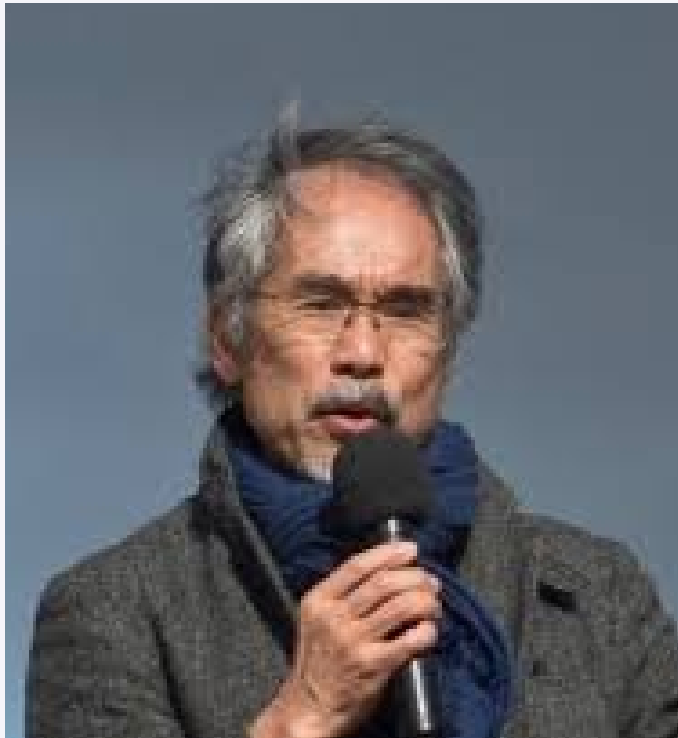




日本放射線リスク評価委員会
(Japan Committee on Radiation Risk Assessment)
第4回学習会

講師：コリン・コバヤシ氏
”国際原子力カロビーの放射線影響否定の戦略”



「国際原子力カロビー」とは、IAEA(国際原子力機関)やICRP(国際放射線防護委員会)などの国際的な組織が、原発の安全性を強調したり、リスクを矮小化したりして、世界の原子力産業を支える構造を指します。
これらの組織が発表する情報は、あたかも国際スタンダードのように受け止められがちですが、実態としては予防原則を無視した低線量被ばくの否定をはじめとする、国・企業・研究機関を巻き込んだ原発推進のためのロビー活動とも言えます。
彼らがチェルノブイリで何を、福島で何をしようとしているのか。
今回、国際原子力カロビーの支配体制を取材し、鋭く分析されるコリン・コバヤシさんが、フランスから来日される機会を捉えてお話をうかがいたいと思います。

【コリン・コバヤシ氏 プロフィール】

フランス在住。美術家、ビデオ作家、フリージャーナリスト、著述家。1970年代から日仏の軍事・民事の反核運動の他、反戦運動、反差別運動、マイノリティ支援運動など幅広い社会運動に関わる。
著書・共著書に『国際原子力カロビーの犯罪』『ゲランドの塩物語』(渋沢クローデル賞現代エッセイ賞受賞)等多数。

【日時】 2026年6月7日(日)13:00～17:00 【参加費】 無料

【場所】 神戸大学深江キャンパス ※対面とオンラインにて
学術交流棟1階梅木Yホール

【プログラム】

13:00～ ①主催者JCRRA挨拶

13:10～ ②映画「チェルノブイリ その後の世界」(90分) 鑑賞
(休憩 約20分間)

15:00～ ③コリン・コバヤシ氏講演

テーマ「国際原子力カロビーの放射線影響否定の戦略

ーチェルノブイリから福島まで、エトス・プロジェクトを手がかりにー

16:30～ ④質疑応答



映画「チェルノブイリ その後の世界」(2018年/フランス/90分)

ベラルーシの子どもたちのために、ベルラド研究所への支援活動を長年続けているNPO「チェルノブイリ・ベラルーシの子どもたち」のメンバーが、2016年から取材・撮影した証言映像を交えて「原発事故後の世界で何が起きているのか」を立体的に描き出すドキュメンタリー

※会場でDVDが入手できます

なお、この学習会は同日開催の「原発のない明日を! 全国集会 in おおさか」に連帯して開催致します。
たくさんの方々のご来場を心より願っております。

【申し込み先】 こちらのQRコードを読み取るか⇒

JCRRAのHP <<https://jcrra.org/>>の「第4回学習会」ページにある

申し込み先<<https://x.gd/unuBg>>(Googleフォーム)からご入力ください。

